

九州大学情報統括本部

IT だより

vol. 11 Spring 2016

目次

- 1 標的型メールにご注意！
- 2 サポートが終了した OS を使用している機器の通信制限について
- 3 全学基本メール関連サービスの内容変更に関する紹介
- 4 eduroam サービスの利用開始！
Windows 10 Education
Office Professional Plus 2016
提供中！
- 6 講習会スケジュール

標的型メールにご注意！

大学職員および学生あてに標的型メールがたくさん届くようになりました。標的型メールは、従来のフィッシングメールとは異なり、文面やサブジェクトに違和感のない日本語が用いられているため目視では気が付かず、また亜種が次から次へと作られているためウイルス・スパムメールサービスで検知されにくいという問題があります。なお、ウイルス・スパムメールサービスでも検知されなかった標的型メールに含まれる添付ファイルや URL による攻撃は、アンチウイルスソフトやファイアウォールでも防御されない可能性が高いことにご注意ください。

標的型メールによる攻撃は、Windows などのオペレーティングシステムやインターネットエクスプローラなどのブラウザの脆弱性を狙い、外部との不正な通信を可能とするので、そのパソコンを利用した深刻な情報漏えいが引き起こされる危険性があります。「給与計算」に関する件名が月末に使われたり、送信アドレスや送信者名において本学や実在する団体名等がかたられたり、など非常に巧妙です。添付ファイルを開いたり、メールの文面に含まれる URL をクリックしたりする前に、電子メールにはこのようなリスクがあることを常に意識しておいて下さい。

開いた時点では、**アンチウイルスソフト**が検知できなかった脅威も、時間がたてば検知できるようになります。アンチウイルスソフトが常に**最新**になるよう更新をしておくことはもちろんですが、**定期的に**パソコン全体を**フルスキャン**して、脅威ファイルがいつのまにか潜んでいないかチェックする習慣をつけることをお勧めします。フルスキャンには時間がかかりますが、1週間に1度くらいはチェックするようにしましょう。

サポートが終了した OS を使用している機器の通信制限について

本学では、セキュリティポリシー (<https://www.sec.kyushu-u.ac.jp/sec/policy/policy4.pdf>) に従って、サポート終了OSによるネットワーク通信の制限を実施しています。対象となるOSを使用している機器は、ウェブ画面に以下のような警告とアップグレードの案内が表示されますので、速やかにOSのアップグレードを行ってください。

1. 対象 OS

Windows XP 以前のバージョン

Windows Server 2003 以前のバージョン

Windows 8 (Windows8.1 は対象外です)



警告画面

2. 注意事項

- 通信制限時は、当該機器がインターネットと通信を行うためのグローバルIPアドレス(133.5.0.0/16)において、全ての通信が制限されます。そのため、NAT(アドレス変換)等によって、グローバルIPアドレスを共有して使用している場合、共有している全ての機器が制限の影響を受けます。
- また、以下のInternet Explorer は、現在のところ、通信制限の対象ではありませんが、サポートが終了しているため使用できません。

Internet Explorer 8

Internet Explorer 9 (Windows Vistaでのサポート終了は平成29年4月11日です)

Internet Explorer 10

- サポートが終了していないOS Windows 8.1、Windows 7 等は本通信制限の対象外です。
- それらのOSを使用している機器で警告表示がされた場合は、情報統括本部ネットワーク事業室 n-room@iii.kyushu-u.ac.jpへご連絡ください。

全学基本メール関連サービスの 内容変更に関する紹介

全学基本メールサービスで提供している各種サービスについて、昨年度より容量拡大や内容に変更等がありましたので、まとめて紹介します。

全学基本メール <http://www.m.kyushu-u.ac.jp/>

メール保存容量の拡大

全学基本メールサービスでは九州大学の全構成員（SSO-KID 所有者）にメールサービスを提供しています。2015年4月1日よりメールの保存容量を4GBに拡大して提供していましたが、システム全体の利用状況・利用傾向から再度の拡大が可能と判断しましたので、2015年11月より容量を8GBに拡大しています。

なお、職員向け有償サービス（月額1,000円）は40GBで変更ありません。

全学ファイル共有システムの切り替えについて

全学基本メールサービスでは、ウェブ経由でファイルのやり取りを行うことができるファイル共有システム（Proself）を提供しています。主にメールの添付ファイルを削減する目的で一時的に（最大90日間）ファイルを格納・共有でき、学生・職員を含む全構成員が利用できる**全学ファイル共有システム**と、保存期間無制限で容量の大きい**職員用ファイル共有システム**の2種類があります。このうち、全学ファイル共有システムについては、昨年度まで <https://storage.iii.kyushu-u.ac.jp/>（以下 storage）で提供していましたが、こちらのサーバは機器の老朽化に伴ないまもなく廃止となります。

これに変わるサーバとして新たに <https://share.iii.kyushu-u.ac.jp/>（以下 share）を提供しています。現在移行期間として storage も稼働中ですが、6月中を目途に停止する予定です。今後 storage に新規にファイルを置くことはせず、今後は share を利用するようにしてください。詳しいスケジュールについてはホームページ・ログイン画面等でお知らせする予定です。

storage では、学生の利用についてはログイン時の認証 ID として学生 ID を使用していましたが、share では学生 SSO-KID に変更になっています。利用する際には注意してください。

なお、保存期間90日、一人あたりの保存容量1GBについては変更ありません。

旧全学ファイル共有システム <https://storage.iii.kyushu-u.ac.jp/>

新全学ファイル共有システム <https://share.iii.kyushu-u.ac.jp/>

職員用ファイル共有システムの容量拡大と有償サービスについて

職員用ファイル共有システム (archive) について、当初一人あたりの保存容量を 10GB で運用してきましたが、システム全体の利用状況・利用傾向から判断し 2015 年 5 月より容量を 20GB に拡大しています。また一部の利用者からの要望により、2015 年 8 月より月額 1,000 円で容量 100GB が利用できる有償サービスの提供を開始しています。是非御活用ください。

職員用ファイル共有システム

<https://archive.iii.kyushu-u.ac.jp/>

Proself Disk の利用について

職員用ファイル共有システム (archive) では、サーバ上の保存領域を手元のパソコン (Windows 及び Mac OSX) でネットワークドライブとして取り扱うためのクライアント向けソフトウェア Proself Disk を利用することができます。これにより、内蔵ディスクと同様にエクスプローラや Finder でファイル操作をしたり、アプリケーションで直接開いたりすることができるようになります。

パソコン内部にファイルをダウンロードする事なくサーバ上のファイルを利用できますので、ノートパソコンなどに情報を保存して持ち出すことなく学外で利用できます。個人情報の漏えいを未然に防止するための対策としても有効です。下記 URL に掲載の「重要な情報の取扱いに関する留意点について (通知)」も併わせて参照してください。

なおこのソフトウェアに全学ファイル共有システム (storage,share) では使用できませんので、ご注意ください。よろしくお願いたします。

名称	対象者	ログイン ID		容量	保存期間	Proself Disk	備考
		学生	教職員/職員				
storage	学生・教職員	学生 ID	SSO-KID	1GB	90 日間	×	6 月末で廃止
share	学生・教職員	SSO-KID	SSO-KID	1GB	90 日間	×	storage の後継
archive	教職員	-	SSO-KID	20GB	無制限	○	
archive (有償)			SSO-KID	100GB	無制限	○	

ファイル共有システム一覧

情報セキュリティに関する学内通知

<https://www.sec.kyushu-u.ac.jp/sec/tuuti/index.html>

Proself Disk のダウンロードや詳しい利用方法

<http://www.m.kyushu-u.ac.jp/storage/proselfdisk.html>

eduroam サービスの 利用開始！

4

平成 28 年 4 月から、九州大学構内において eduroam を利用できるようになります。

eduroam は、高等教育機関や研究機関等における、国際的な ID の相互利用による無線 LAN サービスです。九州大学は eduroam の参加機関であり、九州大学構内でも eduroam を利用することは可能でしたが、この度、eduroam の基地局や認証装置の設置によって九州大学構内でも eduroam を利用することが可能になりました。eduroam が利用できる場所は、設置場所一覧で確認できます。利用にあたっては、国立情報学研究所が提供する eduroam 仮名アカウントの発行が必要です。

なお、以前からの九州大学無線 LAN(kitenet) における学外者向け一時利用サービスは、今までどおり継続します。

eduroam 利用アクセスポイント 設置場所一覧

<https://www.nc.kyushu-u.ac.jp/net/eduroam/eduroam-AP.pdf>

学会、講習会等の会場が eduroam 利用アクセスポイント設置場所一覧にない場合でも、eduroam サービスが利用可能な場合もありますので、お問い合わせ下さい。

全学無線 LAN 学外者一時利用申請書

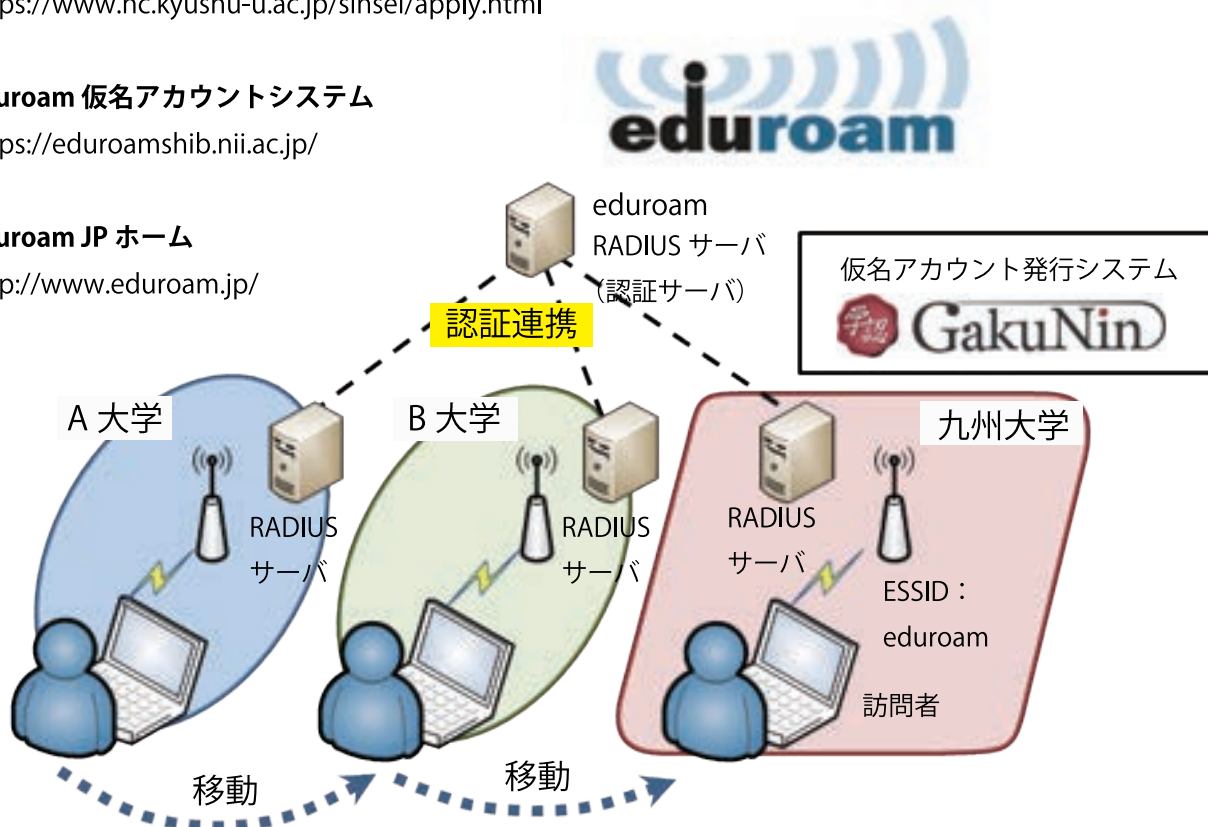
<https://www.nc.kyushu-u.ac.jp/sinsei/apply.html>

eduroam 仮名アカウントシステム

<https://eduroamshib.nii.ac.jp/>

eduroam JP ホーム

<http://www.eduroam.jp/>



Windows 10 Education Office Professional Plus 2016 提供中！



ソフトウェア事業室 W e b サ イ ト	http://softiii.kyushu-u.ac.jp/ (⇒マイクロソフト社製品をクリック)
担 当	ソフトウェア事業室 マイクロソフト社製品担当
T e l	092 -642 -2201
E - m a i l	msq@iii.kyushu-u.ac.jp

九州大学では、マイクロソフト社との間で締結した Microsoft Enrollment for Education Solutions (EES) 契約に基づき、マイクロソフト社製品の提供サービスを行っており、九州大学の教職員・学生は常に最新のバージョンを利用できます。

Windows 10 Education 及び Office Professional Plus2016 についても、平成 27 年 10 月 14 日 (水) からサービスを開始しました。詳細は、当事業室 Web サイトをご覧ください。

地区名	貸 出 場 所
箱崎	○情報システム部情報企画課(本部第一庁舎1階) ○情報システム部情報基盤課(情報基盤研究開発センター4階) ○中央図書館(2階レファレンスカウンター)
伊都	○iCubeサポートデスク(センターゾーン1号館5階1510号室)
病院	○情報統括本部馬出分室(医学図書館2階) △メディカル・インフォメーションセンター(北棟2階)
大橋	○情報統括本部大橋分室
病院(別府)	△病院事務部別府病院事務長付総務係
貝塚	※貝塚地区事務部教務課学生第四係(貝塚地区教務課棟1階)
筑紫	○情報統括本部筑紫分室(共通管理棟2階) 注:ただし、平成28年5月からしばらくの間、筑紫図書館(総合研究棟1階)で貸出します。

○教職員・学生 △教職員のみ ※QBS 学生のみ

講習会スケジュール

- 4月 SCIGRESS ME 先駆的的科学計算に関するフォーラム2016
- 5月 GPGPU Patran/Nastran Marc/Mentat AVS/Express
MicroAVS Linux入門講習会(箱崎) Linux入門講習会(伊都)
- 6月 SYBYL EnSight IDL 講習会 SAS 並列プログラミング入門(自動並列、OpenMP) 講習会)
並列プログラミング入門(MPI) 講習会 高性能アプリケーションサーバチューニング
XeonPhi プログラミング Gaussian 講習会 並列プログラム開発ツール体験イベント

九州大学 情報システム部 情報基盤課全国共同利用担当

連絡先 zenkoku-kyodo@iii.kyushu-u.ac.jp URL <https://www.cc.kyushu-u.ac.jp/scp/users/lecture/>

